

東京経済大学

地域連携センター

TKU Center for Regional Collaboration

2023-2024 | vol.5



東京経済大学・国分寺地域 連携推進協議会



● 大学と国分寺地域との連携・協働を推進

東京経済大学は、国分寺市に本部キャンパスを有する唯一の大学です。1946年に国分寺市へ移転して以降、国分寺市役所をはじめ地域の諸団体、企業、市民と多様な交流を深めてきました。

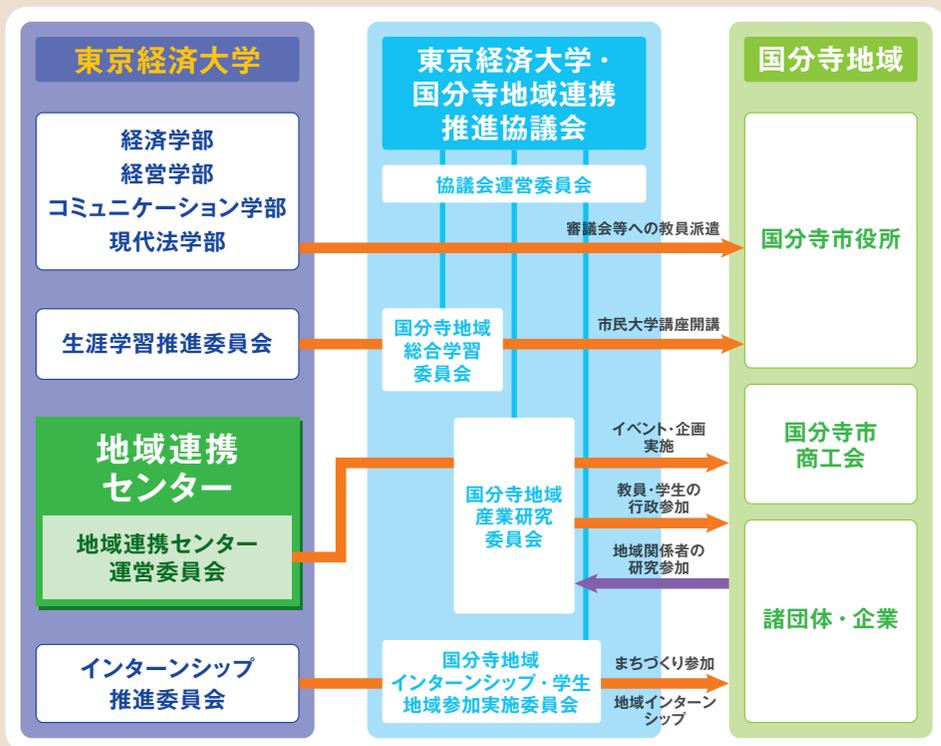
地域社会での交流や取り組みをさらに拡大・発展させるべく、2004年10月に国分寺市、国分寺市商工会および地域の有力企業・団体と「東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会」を組織しました。

現在は、協議会運営委員会、国分寺地域総合学習委員会、国分寺地域産業研究委員会、国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会の4つの専門委員会が活動しています。

東京経済大学は、学生の現代的教育ニーズに応えるとともに、国分寺地域の活性化や地域経済の発展にも貢献していくという大学の社会的使命を果たすべく、これからも積極的に地域の諸団体および市民との連携・協働を推進していきます。

構成団体

- 東京経済大学
- 国分寺市
- 国分寺市商工会
- 国分寺青年会議所
- 国分寺市商店会連合会
- 社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会
- 東京むさし農業協同組合 国分寺地区
- 多摩信用金庫 国分寺支店
- 西武信用金庫 西国分寺支店
- 野村證券株式会社 国分寺支店
- 株式会社日立製作所 中央研究所



東京経済大学は、市民大学講座やフォーラムの開催、特別科目聴講生制度などで国分寺市民の生涯学習を推進しています。一方、国分寺市をはじめ地域団体・企業に、インターンシップや課外活動で学生を受け入れていただいています。本協議会の取組は、文部科学大臣が認証した評価機関からも高く評価されており、今後も地域経済・産業の活性化やまちづくりの課題解決に協働してまいります。



東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会会長
(東京経済大学学長)

岡本 英男

東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会主催 フォーラム開催実績

- 第1回 国分寺の地域資源・課題・夢
- 第2回 国分寺地域産業・経済の活性化のために
- 第3回 「史跡周辺おもてなし事業」から国分寺の魅力を全国発信！
～つないで守る・結んで育む 緑と水の風景軸
- 第4回 地域の担い手大集合！
～国分寺のまちづくりの担い手に期待するもの
- 第5回 国分寺地域連携の現在、そして未来
- 第6回 学生の地域貢献
～今、学生は地域とどう向き合うべきか？

- 第7回 都市農業“2.0”
～新時代の都市農地の可能性
- 第8回 スポーツによる健康のまちづくり
- 第9回 SDGs 国分寺からの発信



地域連携センター

TOKYO KEIZAI UNIVERSITY Center for Regional Collaboration



地域連携センターとは？

東京経済大学地域連携センター(TKU Center for Regional Collaboration、略称CRC)は、2013年6月に地域連携・産学連携の総合窓口として設置されました。

地域連携センターの活動目的は以下の2つです。

- 学生や教職員の地域連携と社会貢献活動を促進し、国分寺をはじめとする多摩地域の行政機関、民間企業、NPO法人、地域住民などの連携を深めること。
- 地域の文化・産業の振興並びに地域社会の発展に寄与すること。

地域連携センターの活動内容

2015年11月には、1号館2階に地域連携センター室がオープンし、窓口業務を本格的にスタートさせ、職員2名体制で以下の支援を行っています。

- 外部機関および本学教職員・学生からの情報収集並びに双方への情報発信
- シンポジウムや講座の準備・運営
- 本学教職員および学生の地域参加、社会貢献活動に対する支援

また、センター内の会議・作業スペースは、学外関係者とのミーティングやゼミ・サークル等による地域イベント参加のための準備作業などにも利用されています。

地域連携支援担当特命講師

地域連携支援担当の特命講師が2017年4月から任用され、地域連携センターと連携して学生の地域活動を支援しています。

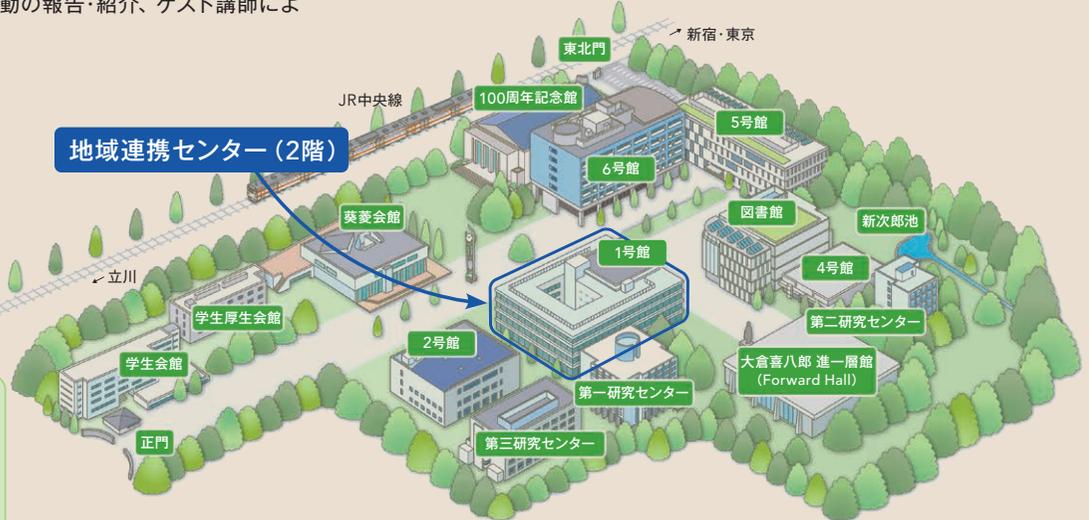
「学生の地域貢献」、「実社会における問題解決力を鍛える」などの授業を担当するとともに、自治体や地域団体との協働、地域連携事業のコーディネート、地域課外活動を行う学生団体の指導などに取り組んでいます。

CRC caféについて

地域連携センター主催によるお昼休み講座「CRC café」も適宜開催しており、教職員や学生による地域活動の報告・紹介、ゲスト講師によるミニ講演会などを行っています。



「CRC café」(キャンパスの自然を知ろう)



地域連携センター入口横掲示板



地域連携センター入口



地域連携センター内会議・作業スペース

場所

国分寺キャンパス
1号館2階(北西側)

窓口時間

土・日・祝を除く授業実施期間中の
9時から17時まで

URL

<https://www.tku.ac.jp/renkei/area-center/>

Twitter

@crc.tku



当センターが開設されて以降、地域の行政、企業、市民団体等との結びつきは格段に深まっています。地域の課題解決にチャレンジする中で学生も成長し、地域も活性化するWin-Winの関係をこれからも構築していきたいと考えています。



地域連携センター
運営委員長
(東京経済大学経済学部教授)

尾崎 寛直

中小企業診断士として商店街を地域コミュニティの核としたまちづくりを各地で手掛けています。学生たちが授業で学んだ知識を生かしつつ、地域社会に問題意識をもって取り組めるフィールドワークとして地域活動を創出してきました。今後は活動内容を拡充させ、学生パワーで地域振興に貢献していきたいと思えます。



地域連携支援担当特命講師
(株式会社タスクフォース
代表取締役)

鈴木 恒雄

地域教育活動

学生の地域貢献（正課授業）

「学生の地域貢献」は、東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会の事業の一環として、産官学の連携により2010年度から開講しています。

国分寺市役所をはじめ、商店街、自治会、NPO法人など公共性の高い機関が主催する事業に、学生がボランティアとして参加することで、「地域を学ぶ」、「地域から学ぶ」ことを目的として開講される特別授業です。イベントの企画・運営やまちづくり活動に参加する中で地域の活性化や地域貢献について学び、企画力や行動力を養います。

オフキャンパスでの授業が中心で、地域の市民・団体と交流し協働するため、地域が抱えている課題や市民活動に求められている課題を活動前に理解することも求められています。授業を締めくくる活動報告会に向けてプレゼン能力を鍛えることも授業の目的の一つです。



地域イベントへの参加



活動報告会

ゼミ

青木亮ゼミ（経営学部）

国分寺市立本多公民館での 新緑まつり参加とゼミ展示会の開催

交通や公益事業、地域経済の諸問題について経営学や経済学を用いた分析をしています。調査した内容をパネルにまとめて、地域の方々に向けた発表や展示を行っています。

本多公民館で5月に開催される新緑まつりでは、ゼミ活動の成果としてパネル展示を行うとともに、祭りの準備・片付けなど会場設営にも協力しています。秋には、国分寺の地域と交通にかかわるテーマを決めて、本多公民館でゼミ生が作成したパネル等を用いた展示会を行っています。過年度のテーマは、「住みたいと思える町、国分寺」、「繁栄する中央線と国分寺」、「東元町まちづくりプラン」、「国分寺駅南口商店街」、「国分寺駅北口再開発」、「国分寺LRT化計画」などです。



青木ゼミ展示会（本多公民館）

小木紀親ゼミ（経営学部）

Webサイト「国分寺物語」を活用した 国分寺市の活性化

Webプラットフォームを活用した地域活性化活動「国分寺物語」を、ゼミ生が企画・運営・執筆しています。ホームページとFacebook、Instagramなどを連動させて、まちの魅力を物語というかたちで発信しています。

毎年、活動の成果をシンポジウム等で地域市民に発表するとともに、国分寺市内の中学校の特別授業で魅力発見のコツをレクチャーしています。また、こくぶんじ観光まちづくり協会が主催する「こくぶんじ写真コンクール」での「国分寺物語賞」の審査および授与、国分寺市の農畜産物「こくべじ」の大学祭（葵祭）での販売、国分寺のお祭りイベントへの参加などを通して国分寺の魅力を発信しています。



大学祭（葵祭）でのこくべじ販売会



「国分寺物語」イベント

尾崎寛直ゼミ（経済学部）

農福連携・ダイバーシティ就労と障がい者 スポーツを通じた「人間の経済」の実現

国分寺周辺地域に住む障害のある人たちの自立した生活をめざす上で、地域就労モデルを実現する経済活動の支援を行っています。ゼミ生は、マーケティングリサーチを通じて、障害者作業所で製造するスイーツの販路拡大や新商品の開発、販売方法の工夫などを行うとともに、キャンパス内および地域のお祭りへの出店による販売実践にも取り組んでいます。

就労は難しい重度障害のある方に対しては、スポーツを通じて社会参加と健康づくりができるよう、地域の障害者スポーツ指導員とも協働しながら企画・運営をしています。

これらの就労および社会参加支援の活動を通して、地域の障害のある方々の自立生活を応援しています。



障害者団体と協働した販売実践



車いすテニスの体験



地域インターンシップ（正課授業）

地域インターンシップは、東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会の事業の一環として、産官学の連携で2005年度から開講しています。学生の職業意識の醸成と国分寺地域の活性化を目的とした、国分寺市内で就業実習・体験を行う全学共通の授業科目です。国分寺市役所や地域経済を担う事業者での実習ですので、地域の活性化や地域貢献についても学ぶことができます。

就業実習・体験の事前・事後の教育にも力を入れており、業界・受入先研究、エントリーシート書き方講座、ビジネスマナー講座をはじめ、国分寺地域諸機関からゲスト講師をお招きする「国分寺地域研究」や模擬面接ワークショップ、車座講座など、多彩な授業を展開し、総合的な就業力を育成します。



ワークショップ



車座講座

活動

常森裕介ゼミ（現代法学部）

国分寺「子どもフェスティバル」の開催

年金や医療、介護など、生き方やライフスタイルに直接関わる仕組みである社会保障制度を研究するゼミです。

「子どもフェスティバル」開催の目的は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により人との交流の機会が減り、地域の繋がりが弱まっている中、子ども食堂の開催を通して、子どもや子育て世帯が相互にコミュニケーションをはかることのできる場を提供することです。

本来であれば「子ども食堂」の実施をすることで、飲食時は感染拡大の懸念があることから、ゲームコーナー等、遊びを中心とした交流の場を提供するという形で行っています。



「子どもフェスティバル」（本多公民館）

鈴木恒雄ゼミ（経済学部）

地域経済の観点から実践的な街づくりを学ぶ

地域経済の観点から介入する売り手、買い手、街の“三方よし”をテーマに、街づくりの在り方を学習します。

国分寺市が策定した地域産業活性化プランを推進するために、最重要課題である2つの施策（国分寺お店大賞、デジタル地域通貨）の具現化に取り組んでいます。国分寺市商工会や国分寺市と協議しながら、「国分寺お店大賞」の企画運営、キャッシュレスアプリの実装に向けた社会実験などを展開しています。

また、立川市内の商店街では、立川駅南口駅前の未活用空間の有効活用に向けて、立川南口まちづくり協議会でゼミ生が提案した多目的ベンチが常設されるとともに、立川南口商店街連合会イベント（「立川南口街ゼミ」など）の企画運営にも参加して地域振興に取り組んでいます。



「国分寺お店大賞」表彰式



設置された多目的ベンチ

立川南口街ゼミ



鈴木恒雄特別ゼミ（全学共通）

地域で実社会における問題解決力を鍛える

東京経済大学にも店舗を構える地元のパン店キニョンとコラボし、本学ならではの定番商品を開発する「東経大名物パン開発プロジェクト」を展開しています。本学の学生や教職員を対象にアンケートを実施し、市場ニーズを把握したうえで新商品を開発しています。

また、国分寺市商工会の協力を得て、“食”を基軸に市内飲食店の活性化を企図した「こくめしプロジェクト」にも取り組んでいます。個性溢れる個人経営の飲食店を多くの人々に認知してもらうため、“国分寺で食べたい商材（＝こくめし）”を共通テーマに掲げて市内の商業振興に取り組んでいます。



国分寺マルイとの
コラボプロジェクト



東経大名物パン開発プロジェクト

地域課外活動

地域連携センターが支援する学生の地域活動

地域連携センターでは、学生の社会貢献活動に対する助成金制度などを通して、学生団体やゼミなどが主体的に地域の活性化や社会貢献に取り組む活動を支援しています。

また、学生の地域活動については、活動内容を学内外にさまざまなかたちで発信するとともに、地域連携センター年次報告書にまとめて大学公式ウェブサイトでも公表しています。

地域での活動を行っている代表的なサークルなどの学生団体を紹介します。



国分寺市社会福祉協議会への「こくスマ!」による寄付

国分寺のスマイルを創り出す課題解決型ボランティアサークル

こくスマ!

地域連携センターが後援する大学公認地域ボランティアサークル「こくスマ!」は、“国分寺のスマイルをつくる”をコンセプトに掲げ、国分寺地域の課題解決を目指し、国分寺のPR活動や利便性向上、地域と大学の連携などに取り組んでいます。

本学、国分寺市、こくぶんじ観光まちづくり協会は、「ぶんじコンシェルジュ」事業に関する協定を締結しています。本事業は、こくぶんじ観光まちづくり協会が実施する研修を修了した「こくスマ!」所属の学生たちが、国分寺市案内所やこくぶんじ観光まちづくり協会が主催する地域イベントへの来訪者に対して、国分寺の観光案内、まちの魅力の紹介、イベント等の情報提供を行うものです。



国分寺市案内所（国分寺駅コンコース内）



「ぶんじコンシェルジュ」基礎研修

国分寺駅コンコース内の国分寺市案内所では、「ぶんじコンシェルジュ」の資格認定学生たちが、平日の17時から19時まで交代で駐在し、訪れる方に国分寺の魅力を発信しています。

また、「国分寺まつり」、「ぶんぶんウォーク」などの地域イベント開催時には、こくぶんじ観光まちづくり協会と共同で出展し、国分寺のPR活動を行っています。

活動の中から学生たちにより提案された「駅チカMAP」や「こくぶんじFAN缶バッジ」の製作と配布（販売）なども行っています。



ぶんぶんウォーク



駅チカMAP

他にも、国分寺市国際協会主催の「国際交流フェスタ」や市民有志による音楽イベント「こくフェス」などの実行委員として企画・運営に携わる活動、大学祭（葵祭）で地域交流スペースでの交流を目的としたフリーマーケットなどのイベントによる地域貢献活動などを行っており、フリーマーケットなどの売上金は国分寺市社会福祉協議会に寄付しています。



市民音楽イベント「こくフェス」

葵祭（学園祭）フリーマーケット





ボランティアサークル Clover (クローバー)

文化会所属ボランティアサークルCloverは、部員数が150名を超える本学最大の公認サークルです。国分寺地域の発展・活性化を目的に、国分寺市内でのゴミ拾いなどの清掃活動、環境保全、学習支援、イベント支援など様々なボランティア活動を行っています。

【災害時支援ボランティア】

東京消防庁国分寺消防署と「東京消防庁災害時支援ボランティア登録等に関する覚書」を締結しています。講習会受講や定期的な訓練により、大規模災害に備えています。



東京消防庁災害時支援ボランティア登録に関する締結式

落語研究会

文化会所属の落語研究会は、地域連携センターの「学生の社会貢献活動に対する助成金制度」を利用して、国分寺市立いずみホール等の公共施設で地域市民向けに落語会（葵名人会）を無料で開催しています。また、セレオ国分寺との共催で、敬老の日やお正月などにセレオ国分寺9階レストランフロア広場で「CELEO寄席」を開いています。



CELEO寄席（セレオ国分寺9階特設ステージ）



葵名人会（いずみホール）

TKU Unlimited

本学キャリアデザインプログラム所属学生による学生団体「TKU Unlimited」は、プロジェクトの一つとして日本の食品ロス問題に取り組んでおり、国分寺マルイ、セレオ国分寺、ミーツ国分寺での発表などを行っています。日本の食品ロス問題に取り組む地域活動を継続的に続けていく予定です。



国分寺マルイでの
展示発表



市内の飲食店経営者
との食品ロス学習会

東京経済大学 SDGs学生委員会

2022年に発足した新しい大学公認学生団体です。本学は2021年4月に「SDGs宣言」を行い、SDGsの啓発や実現に向けて様々な活動を行っていますが、その中からSDGsの学習、啓発活動を自主的に行いたいという学生たちが集まり設立されました。

SDGsやフードロスに関する学習会の開催、こども食堂やフードバンクの開催協力、SDGs啓発ステッカーの作成、セレオ国分寺と協働したイベント「サステなぶんじ」の開催など、学習・啓発と実践の両面で活動を開始しています。



セレオ国分寺との
協働イベント
「サステなぶんじ」

連携事業

● 国分寺市との連携

【市民大学講座】

市民大学講座は、国分寺市教育委員会と本学との共催で1982年から始まり、現在では東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会の事業の一環として行われています。市民の皆様へ現代社会を生きる上で大切な知識を提供し、皆様の生活を豊かにするために開講してきました。近年は「現代社会を考える」を統一テーマに、秋に8回開講しています。



また、市民大学講座受講生の有志が結成した「櫻友会」は、市民大学講座期間外に本学の教室を利用して自主学習会を開いています。

【特別科目聴講生制度】

国分寺市委託事業として、国分寺市在住の方々や市内で働く方々を対象に、1985年から本学の正規授業科目の一部を開放し、国分寺市と本学が授

業料の一部を負担する特別科目聴講生制度を設けています。聴講生の皆様は国分寺キャンパスで学生たちと一緒に学び、生涯学習の契機となっています。

【市民のための契約法講座】

消費者教育の一環として、国分寺市と本学との共催で「東京地域連携講座～市民のための契約法講座」を2012年から開いています。消費者被害未然防止に向けて市民の方々が契約知識を身につけることができるよう、本学の現代法学部教員が講師となり、秋に5回開講しています。

【「こらぼdeサロン」シンポジウム】

国分寺市、こくぶんじ市民活動センターおよび本学地域連携センターがコラボしたシンポジウム「こらぼdeサロン～大学生と創る地域の力」を2017年から開催しています。本学教員の講演、学生の発表、市民と学生のグループディスカッションなどを行っています。毎年冬の開催で、計4回開催しています。

● 国分寺地域団体との連携

【こくぶんじ観光まちづくり協会】

東京経済大学、国分寺市、こくぶんじ観光まちづくり協会は、2018年に「ぶんじコンシェルジュ事業」に関する協定を締結しました。研修を受講し「ぶんじコンシェルジュ」に認定された「こくすま!」所属の学生が、国分寺市案内所や「国分寺まつり」などのイベントにおいて、国分寺の情報提供や観光PRに取り組んでいます。



国分寺まつり（こくぶんじ観光まちづくり協会ブース）

また、こくぶんじ観光まちづくり協会が主催する「こくぶんじ写真コンクール」において、小木ゼミ「国分寺物語」メンバーが審査委員を務めています。

【国分寺市国際協会】

1991年の国際協会発足時から現在まで協働して活動を行っています。歴代の国協会会長は本学専任教員が務め、市内在住の外国人の大人を対象とした日本語教室や交流事業などの開催に協力しています。

また、本学の国際交流講演会や学生による英語プレゼンテーションコンテスト、日本語プレゼンテーション発表会等の国際交流イベントなどの広報や、海外協定校からの短期留学生を市内の小学校や会員の自宅へ訪問するコーディネーターなどでは協力をいただいています。



学生も参加した市内在住外国人の方々との「さんぽツアー」

【国分寺市社会福祉協議会】

社会福祉協議会の「ボランティア活動センターこくぶんじ」と本学の地域連携センターが連携し、学生のボランティア活動を支援しています。

また、「こくすま!」など社会貢献活動を行っているサークルやゼミでは、フリーマーケットやワークショップなどの収益を年度ごとに社会福祉協議会に寄付しています。



国分寺市社会福祉協議会への寄付後の懇談会

● 産学連携

【多摩信用金庫】

本学と多摩信用金庫は、2014年に、地域のニーズと大学の資源のマッチング、委託研究・共同研究、講師派遣等により産学連携の推進を目的に協定を締結しました。相互に協力して多摩地域や中小企業の抱える課題の解決を目指しています。



共同研究等をもとに、共同シンポジウムを6回開催しています。

第1回 飛躍する多摩のものづくり企業

～地域産業の活性化と挑戦する経営者

第2回 多摩の中小企業の知られざる国際化と経営者の姿

～地域連携に求められる新たな役割とは？

第3回 多摩のインバウンド戦略と地域資源活用

第4回 中小企業の稼ぐ力と支援力

～企業と支援機関のパートナーシップによる価値共創

第5回 多摩の中小企業の経営者が語る女性が働く環境の“今”と“未来”

～女性が輝き続けられる地域を目指して

第6回 東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域



【西武信用金庫】

本学と西武信用金庫は、2015年に、インターンシップを通じた中小企業への就業支援、講師派遣、共同研究等により地域社会の発展に寄与することを目的に協定を締結しました。地域の活性化と産業の振興を図るため相互に協力する内容です。

西武信用金庫が主催する大学連携事業「知財活用スチューデントアワード」へも毎年複数のゼミがコンペティションに参加しています。産学官金の地域支援機関が連携し、学生が大手企業等の開放特許を活用した商品アイデアを考え、これまでの市場にない斬新な商品アイデアを創出し、知的財産を活用した商品開発のアイデアやビジネスモデルを競う大会です。

2018年度からは毎年、西武信用金庫から本学へ「地域産業応援資金（地域みらい）」をご提供いただいております。学生・教職員による地域活性化のための活動に役立っています。



知財活用スチューデントアワード本選